



一歩

大空祭 リレーメンバー

今年の大空祭は、みなさんにとって中学校最後の体育祭です。3年生という立場ですから、1・2年生後輩を一つにまとめる連合のリーダー学年という役割があります。同時に、自分たちの学級・学年が一つに団結する大切な機会でもあります。

リレーオーダー(走順)をどうするかは、3年生のみなさんは、なんとなく決めるということはないと思います。全員リレーでは、クラス30人が走ります。30人走ったときの合計タイムが少ないクラスが1位になります。これは計算上の数字です。ですが、学級の力を最大限に発揮できるように考え、走順などに工夫をこらすと、30人の合計タイムが短縮されたり、順位の向上に結びついたりします。ちょっとした取り組みや工夫が、みんなの団結力を強め、やる気を出し、全員ががんばるリレーにしていくのです。

走るのが早い人も、遅い人もいます。大空祭に対する思いも人により違い、運動が苦手な人は遠慮がちに参加しているかもしれません。がんばろうと思っても、うまくいかず、運動が苦手な人のがんばろうという思いと周りの仲間の求めるものと異なっているかもしれません。学級全員が、本気で取り組み、精一杯の取り組みをすることで、学級や連合の団結力が強くなっていくでしょう。

学級の力、学年の力、連合の力と、協力や団結でさまざまな力が強くなっていきます。



自分の役割 自分ができること

僕は3年生でいろいろな思い出ができました。1つめは、体育祭のパネル係になったことです。僕は行事などで何かを作る作業をしたことがなかったから不安でした。そのうえ、絵を描くのは苦手で、パネルはみんなが見るものなので余計に手が震えてしまいました。僕以外の人は器用だったり絵が上手なので、僕は皿洗いをしていました。自分の中では、皿洗いの時間のほうが長かったと思います。体育祭で、パネルの結果はあまりよくなかったけど、楽しかったからよかったです。



オジサンが以前いた学校の生徒の卒業文集の一部です。その生徒は最初パネル係になることを非常に嫌がり、仲間から頼まれて、役割を引き受けました。最初は渋々活動しました。その後、他の生徒と自分の力量などを考え、自分が連合で貢献できることが皿洗いと考え、がんばってくれた生徒です。パネルの結果もよかったわけではありません。しかし「楽しさ」を感じて卒業していきました。

みなさんにも、最後に楽しさや充実感を味わって終わってほしいと願っています。活動していく中で辛いことや苦勞もあると思いますが、乗り越えてがんばってください。